

一般研修:生涯発達部門

主要題目	臨床発達心理士に求められる素養・能力	素養・能力を高めるための研修要点	主要項目とキーワード
【生涯発達の視点からの支援を学ぶ】	臨床発達心理士として対象児・者を、生涯発達の視点から「発達という時間軸」と「関わる領域」のマトリクスの中に位置づけ、多面的に理解できる。	【生涯発達を通じた時間的変化の理解】 生涯発達における各時期、各機能領域の特徴を理解したうえで、対象児・者を時間的連続の中の点だけでなく線として捉え、支援することができる。	(生涯発達における各段階) 胎児期, 乳児期, 幼児期, 児童期, 青年期, 成人期, 高齢期 (機能領域ごとの発達の变化) 身体・運動の発達, 感覚・知覚の発達, 認知の発達, 社会・情動の発達, 言語・コミュニケーションの発達 (全般) 生涯発達における獲得と喪失, 各機能や能力の維持・向上
		【対象児・者をとりまく支援領域の理解】 時間的連続の中で線として捉えた生涯発達の变化を、支援領域と結びつけた面として捉え、より多面的な視点から支援することができる。	(医療・保健領域) 母子保健, 周産期, NICU/GCU, 入院(入院患児, 親の入院等), きょうだい児, 依存(物質・非物質), リハビリテーション (教育領域) 発達と学びの連続性(幼保小連携), 学習支援, 対人関係の支援, 不登校, いじめ(被害・加害), 進路・キャリア発達の支援 (福祉領域) 子育て支援, 高齢者支援, 障害児・者支援, 若者支援, 社会的養護, ダブルケア(育児・介護等), 虐待(児童, 障害者, 高齢者), 孫育て, 親の障害 (司法領域) 離婚, 非行, 親の逮捕, 犯罪被害者支援, 加害者の再犯防止 (産業・労働領域) ワーク・ライフ・バランス, 就労支援, 職場復帰, EAP(従業員支援プログラム), 育児・介護休業 (全般) 家族ライフサイクル, 社会復帰, 社会参加, 地域のつながり, 支援者支援, 本人支援, 家族(関係者)支援, 地域支援, 子どもに対する説明・告知
【状況に応じた支援を行うための基本的情報を学ぶ】	臨床発達心理士としての専門性を意識しながら、状況に応じた適切な支援資源の把握・情報提供, 連携や支援を行うことができる。	【状況に応じた支援の理解】 臨床発達心理士としての専門性を意識しながら、状況に応じた適切な支援資源の把握, 連携や支援を行うことができる。	(地域特性に応じた支援の理解) 地域資源の把握, 地域支援ネットワーク (自身の専門分野に関して施行されている法・制度の把握) (対象児・者, 家族・関係者の状況理解) アセスメント (他職種の中における臨床発達心理士) 臨床発達心理士, 他の心理職, 他の支援専門職